

アート・コミュニケータと一緒に楽しむ

うちでスウェーデン 絵画展



ゆっくりとしたペースで
進行します

自宅から
楽しめる
鑑賞会

2026 2月15日(日) 14:00-15:00

東京都美術館で開催する「スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」にあわせて、作品をゆっくり見ながら、アート・コミュニケータと会話を楽しめます。

対象

認知症と共に生きる人とその家族

参加費

無料

定員

20名程度(抽選)

会場

自宅等からZoomでの参加

※参加にはインターネット通信環境が必要です。
通信費用は参加者の負担となります。



Creative Ageing(クリエイティブ・エイジング) ずっとびは、いくつになっても「ずっと」通いたくなる美術館を目指して、シニア世代を対象にしたプログラムを企画しています。

今回は、認知症と共に生きる人とそのご家族を対象に、自宅からパソコンを使って展覧会の絵を楽しめる、オンライン鑑賞会を行います。東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」で活動するアート・コミュニケータ(愛称:とびラー)と一緒に、スウェーデンの絵画作品を見て、発見したことや心に浮かんだことについて、ゆっくりおしゃべりしながら楽しめます。

お申し込み

インターネットで参加お申し込み
(抽選)

お申し込み期間

1月9日(金)～1月31日(土)

抽選結果はメールで
お知らせします。

以下のウェブサイト
またはQRコードから
お申し込みください。

https://www.zuttobi.com/news/0215_apply



参加条件

参加者、または家族や介助者が以下の操作を行えること

- ・パソコンでEメールの送受信ができる
 - ・カメラ・マイク付きのパソコンでインターネット接続ができる
 - ・パソコンで"Zoom"を使うことができる
 - ・鑑賞会中はパソコンのカメラをオン設定にして、参加者自身の顔が画面に見えるようにできる
- * スマートフォンやタブレットは作品やお互いの顔が見づらく鑑賞に向かないため、パソコンをご利用ください。
- * 参加者の環境やその時の回線状況により、やむを得ず接続が中断される可能性があります。あらかじめご理解ください。



録画あり



当日のプログラムは記録のために録画・撮影します。記録した映像やスクリーンショットは当プログラムの活動を伝えるため、東京都美術館や東京藝術大学の媒体に掲載・公開いたします。

展示室では本物の作品をご覧ください

展覧会

スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき



本展は近年世界的に注目を集める、スウェーデン美術黄金期の絵画を紹介する展覧会です。スウェーデンでは、若い世代の芸術家たちが1880年頃からフランスで学び始め、人間や自然をありのままに表現するレアリスムに傾倒しました。彼らはやがて故郷へ帰ると、スウェーデンらしい絵画を描くことをめざし、自然や身近な人々、あるいは日常にひそむ輝きを、親密で情緒あふれる表現で描きはじめます。本展はスウェーデン国立美術館の全面協力のもと、19世紀末から20世紀にかけてのスウェーデンで生み出された魅力的な絵画をとおして、自然と共に豊かに生きる北欧ならではの感性に迫ります。

会期: 2026年1月27日(火)～4月12日(日)

休室日: 月曜日、2月24日(火) *ただし2月23日(月・祝)は開室

会場: 東京都美術館(東京・上野公園)

観覧料: 一般 2,300円(2,100円) / 大学生・専門学校生 1,300円(1,100円) / 65歳以上 1,600円(1,400円)、
18歳以下、高校生以下は無料

※金額は税込 ※()内は前売料金 前売券は2026年1月26日(月)までの販売

詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。<https://swedishpainting2026.jp>



「Creative Ageing ずっとび」は、東京都美術館と、東京藝術大学が拠点となって推進する「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」(ART 共創拠点)が共催して事業を進めています。また、本プログラムは、JST 共創の場形成支援プログラム「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」(JPMJPF2105)の支援を受けたものです。

お問い合わせ

東京都美術館

アート・コミュニケーション係

TEL: 03-3823-6921(代表) (9:30～17:30)

E-mail: info@zuttobi.com



主催: 東京都美術館、東京藝術大学

共催: 共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点